

第2次久米島町総合計画 後期基本計画
第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略

— 住民アンケート結果 —

■概要

実施期間	2020年10月1日～23日
対象	久米島町在住、または久米島町出身の方
配布・周知方法	①各世帯へ配布（約3,500世帯） ②久米島町ホームページ ③久米島町公式LINE、ほか役場窓口での配布
回収方法	①郵送での回収 ②町民課、総合窓口回収ボックスでの回収 ③WEB（ホームページ、LINE）での回収
回収数	482件（郵送321件、WEB161件）
アンケート結果構成	1.回答者の属性・・・・・・・・・・・・・2 2.島での「くらし」について・・・・・・・・・・・・・3 3.島での「仕事」について・・・・・・・・・・・・・6 4.島での「子育て」について・・・・・・・・・・・・・9 5.島での「暮らしの拠点」について・・・・・・・・・・・・・10 6.これからの久米島町について・・・・・・・・・・・・・11 7.島づくりの目標に対する自由記述での主な内容 ①「生まれる」世代のために・・・・・・・・・・・・・11 ②「育つ」世代のために・・・・・・・・・・・・・12 ③「学ぶ」世代のために・・・・・・・・・・・・・12 ④「働く」世代のために・・・・・・・・・・・・・13 ⑤「暮らす」世代のために・・・・・・・・・・・・・13 ⑥「老いる」世代のために・・・・・・・・・・・・・14 ⑦「次世代」のために・・・・・・・・・・・・・14 ⑧島を訪れる、島に帰る人たちへ・・・・・・・・・・・・・15 8.5年後…久米島はこうあってほしい！（自由記述）・16

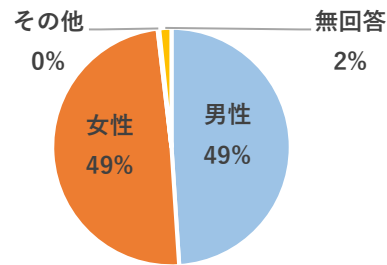


—島人みんなで織り上げる未来—

1.回答者の属性

①性別 (N=482)

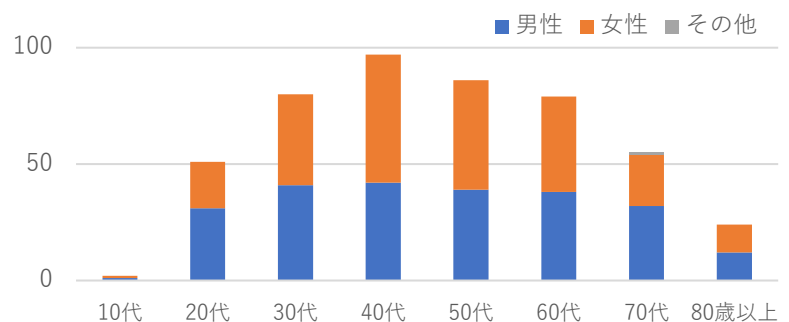
男性	236名
女性	237名
その他	1名
無回答	8名



②年齢 (N=482)

10代	2名
20代	51名
30代	80名
40代	97名
50代	86名
60代	80名
70代	55名
80歳以上	24名
無回答	7名

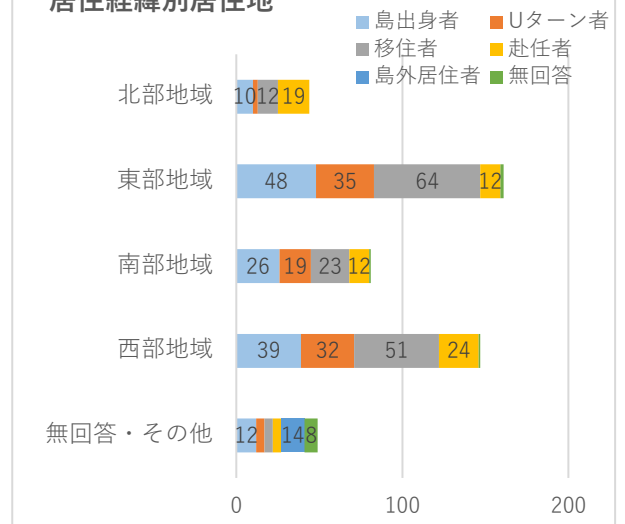
回答者の年代別・性別



②居住地 (N=482)

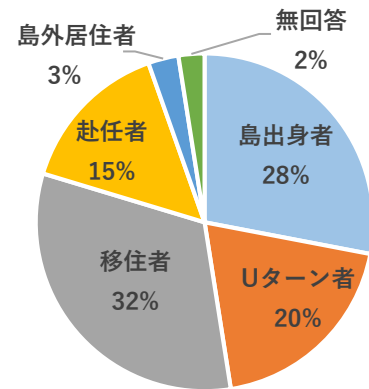
●北部地域 (旧比屋定中学校区) 宇江城、比屋定、上阿嘉、下阿嘉	44名
●東部地域 (旧仲里中学校区) 真謝、宇根、真泊、東奥武、西奥武、 泊、謝名堂、比嘉、イーフ、真我里、 銭田、島尻	161名
●南部地域 (旧久米島中学校区) 山城、儀間、嘉手苅	81名
●西部地域 (旧具志川中学校区) 仲村渠、具志川、仲地、山里、上江洲、 西銘、久間地、大原、北原、鳥島、仲 泊、大田、兼城	147名
その他・無回答	49名

居住経緯別居住地



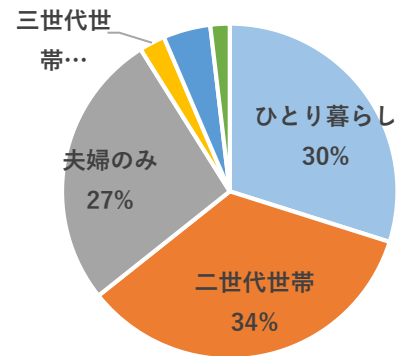
④居住経緯 (N=482)

●島出身者（生まれてからずっと島で暮らしている）	135名
●Uターン者（過去に島外居住経験あり）	94名
●移住者（島外出身で移住してきた）	155名
●赴任者（仕事で一時的に暮らしている）	72名
●島外居住者（島出身で現在島外に居住している）	14名
●無回答	12名



⑤家族構成 (N=482)

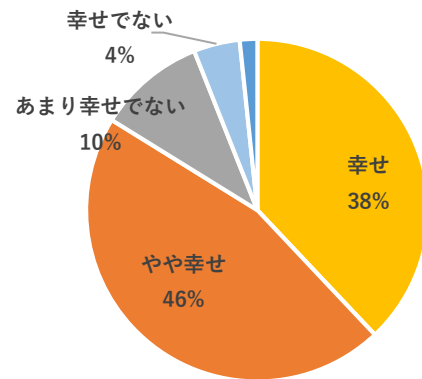
1人暮らし	144名
二世帯世帯（親と子）	166名
夫婦のみ	129名
三世帯世帯（親と子と孫）	12名
その他	22名
無回答	9名



2.島での「くらし」について

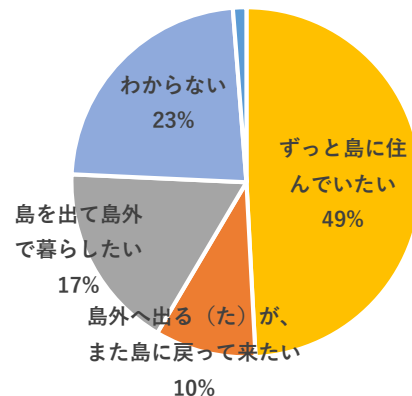
①「幸せ」だと感じるか (N=482)

幸せ	183名
やや幸せ	221名
あまり幸せでない	49名
幸せでない	21名
無回答	8名



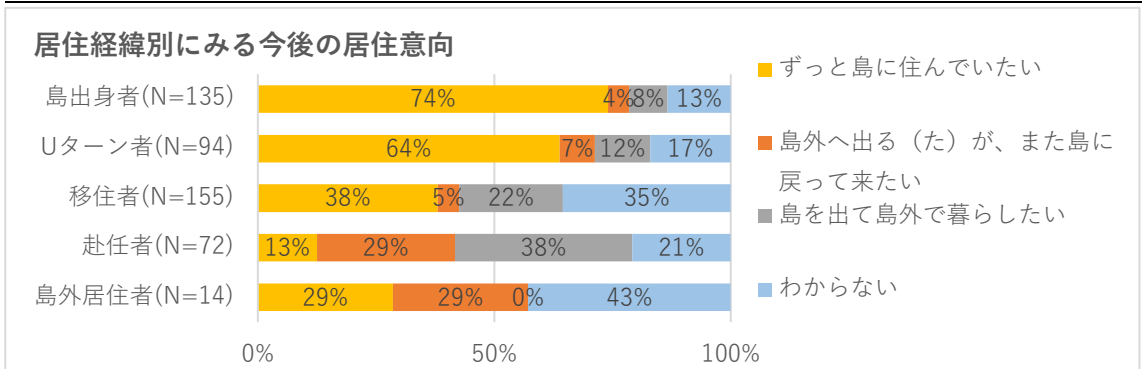
②居住意向 (N=482)

ずっと島に住んでいたい	237名
島外へ出ると思うがまた島に戻って来たい	45名
島を出て島外で暮らしたい	83名
わからない	111名
無回答	6名



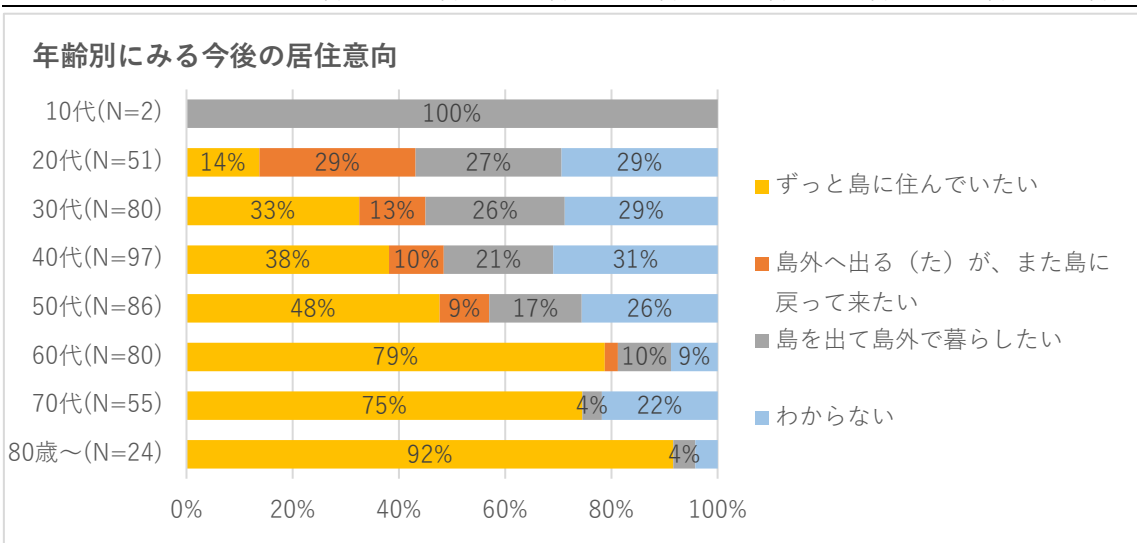
③居住経緯別の居留意向 (N=470 ※無回答除く)

	島出身者 (N=135)	Uターン者 (N=94)	移住者 (N=155)	赴任者 (N=72)	島外居住者 (N=14)
ずっと島に住んでいたい	100名	60名	59名	9名	4名
島外へ出る(た)が また島に戻って来たい	6名	7名	7名	21名	4名
島外で暮らしたい	11名	11名	34名	27名	0名
わからない	18名	16名	55名	15名	6名



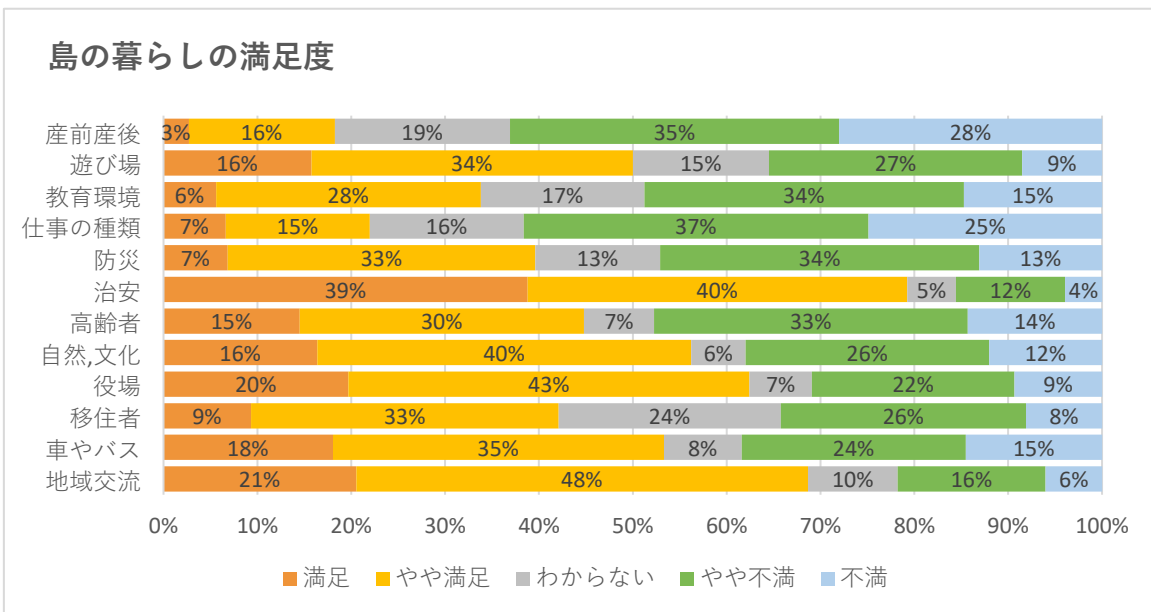
④年齢別の居留意向 (N=475 ※無回答除く)

	10代 (N=2)	20代 (N=51)	30代 (N=80)	40代 (N=97)	50代 (N=86)	60代 (N=80)	70代 (N=55)	80歳~ (N=24)
ずっと島に住んでいたい	0名	7名	26名	37名	41名	63名	41名	22名
島外へ出る(た)が また島に戻って来たい	0名	15名	10名	10名	8名	2名	0名	0名
島外で暮らしたい	2名	14名	21名	20名	15名	8名	2名	1名
わからない	0名	15名	23名	30名	22名	7名	12名	1名



⑤くらしの満足度 (N=482)

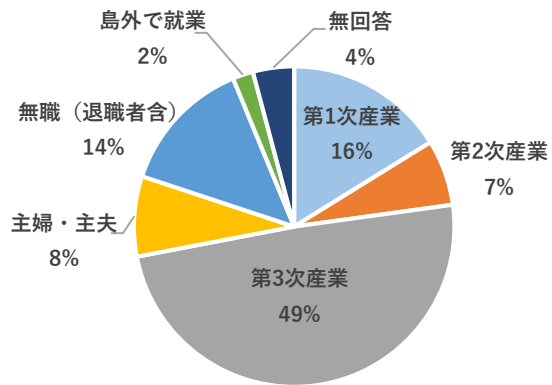
	満足	やや満足	わからない ・無回答	やや不満	不満
産前産後について	13名	75名	90名	169名	135名
子どもの遊び場について	76名	165名	70名	130名	41名
教育環境について	27名	136名	84名	164名	71名
仕事の種類について	32名	74名	79名	177名	120名
防災について	33名	158名	64名	164名	63名
治安について	187名	195名	25名	56名	19名
高齢者について	70名	146名	36名	161名	69名
自然や文化について	79名	192名	28名	125名	58名
役場での対応について	95名	206名	32名	104名	45名
移住者について	45名	158名	114名	126名	39名
車やバス等移動について	87名	170名	40名	115名	70名
地域交流について	99名	232名	46名	76名	29名



3. 島での「仕事」について

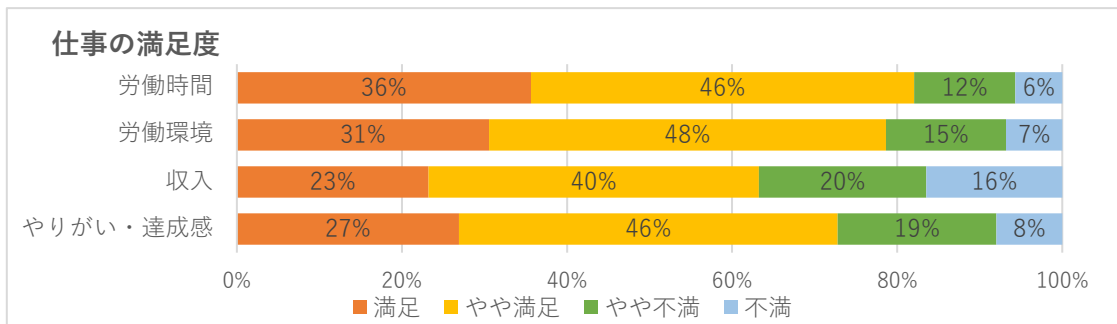
①回答者の職業 (N=482)

第1次産業	78名
第2次産業	32名
第3次産業	237名
専業主婦・主夫	39名
無職（退職者含）	66名
島外で就業	10名
無回答	20名



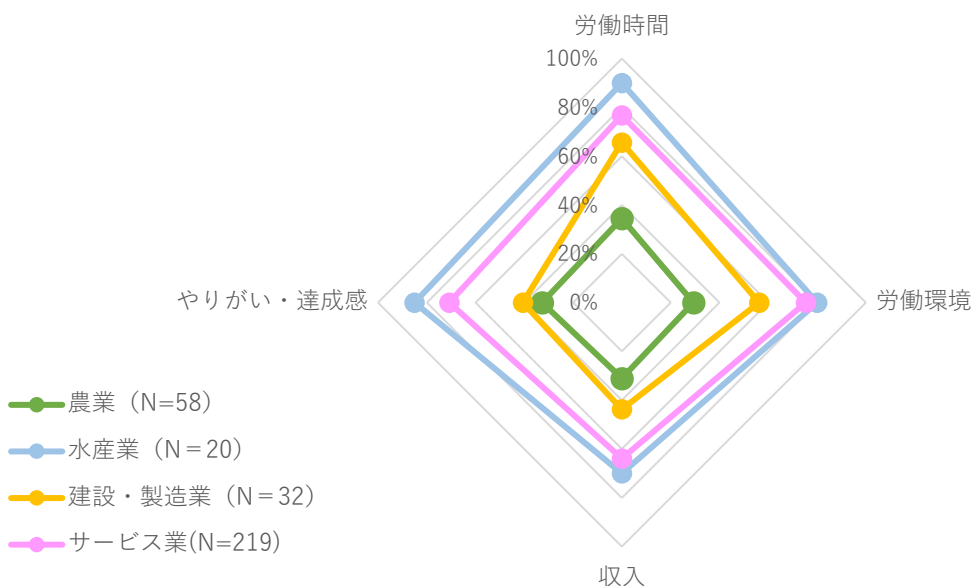
②仕事の満足度（就労している方のみ回答）

	満足	やや満足	やや不満	不満
労働時間について	119名	155名	41名	19名
労働環境について	103名	162名	49名	23名
収入について	79名	136名	69名	56名
やりがい・達成感について	91名	155名	65名	27名



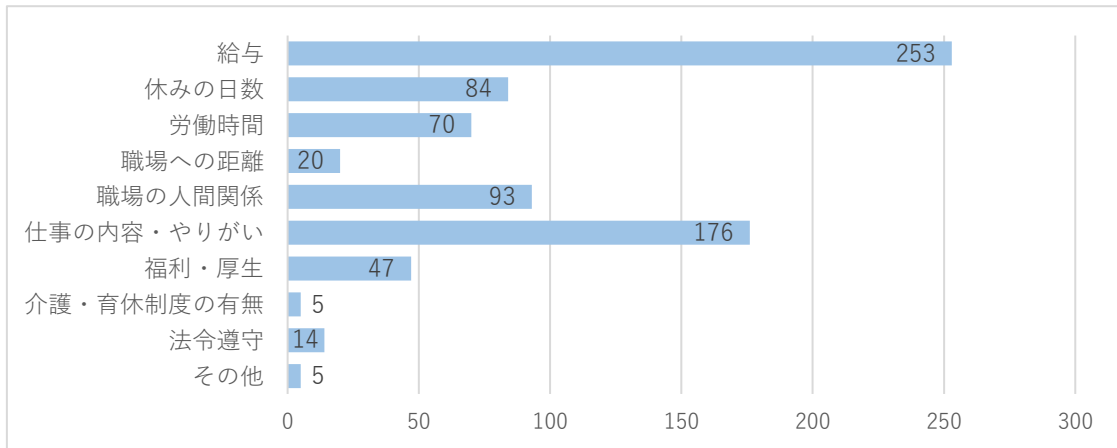
職業別にみる仕事の満足度

（「満足」と「やや満足」の合計に対する割合）



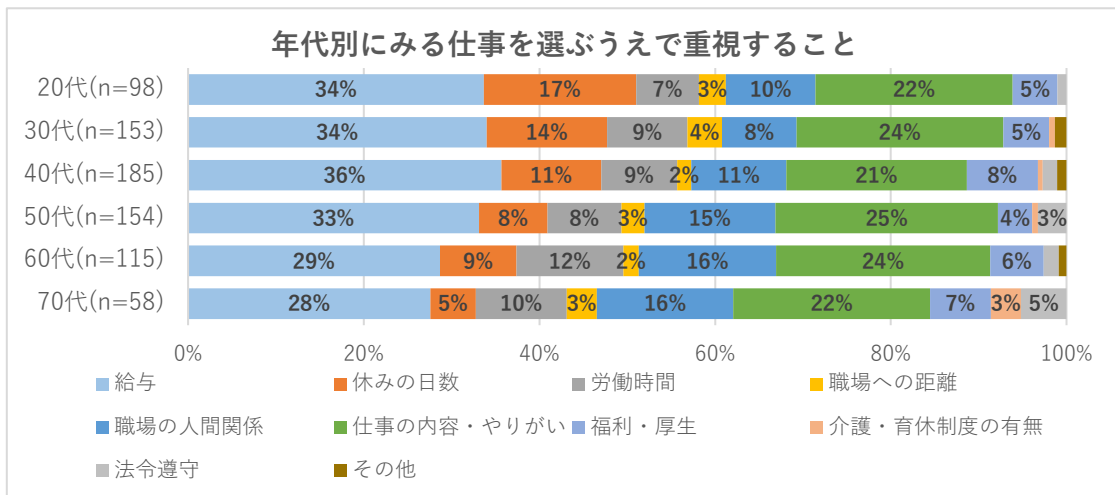
③仕事を選ぶうえで重視すること（複数回答 n = 767）

重視すること	人数	重視すること	人数
給与	253名	内容・やりがい	176名
休みの日数	84名	福利・厚生	47名
労働時間	70名	介護・育休制度	5名
職場への距離	20名	法令遵守	14名
職場の人間関係	93名	その他	5名



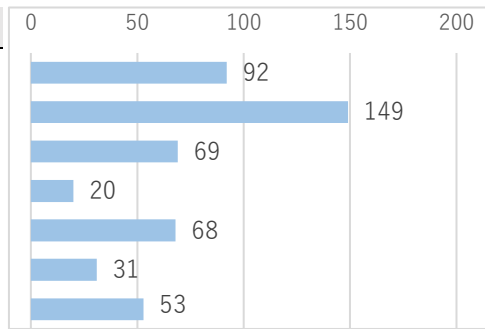
④年齢別仕事をを選ぶうえで重視すること（複数選択）

	20代 (n=98)	30代 (n=153)	40代 (n=185)	50代 (n=154)	60代 (n=115)	70代 (n=58)
給与	33名	52名	66名	51名	33名	16名
休みの日数	17名	21名	21名	12名	10名	3名
労働時間	7名	14名	16名	13名	14名	6名
職場への距離	3名	6名	3名	4名	2名	2名
人間関係	10名	13名	20名	23名	18名	9名
内容・やりがい	22名	36名	38名	39名	28名	13名
福利・厚生	5名	8名	15名	6名	7名	4名
介護・育休制度	0名	1名	1名	1名	0名	2名
法令遵守	1名	0名	3名	5名	2名	3名
その他	0名	2名	2名	0名	1名	0名



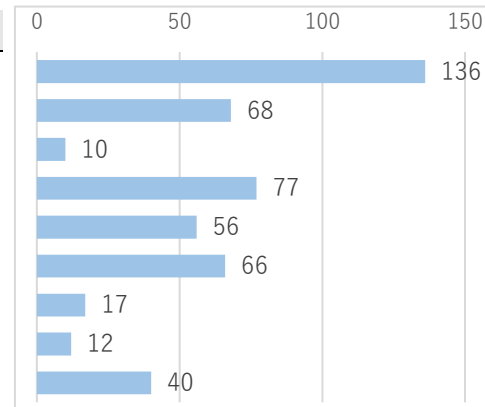
⑤町が取組むべきこと (N=482)

就労に関する相談窓口の設置、紹介	92名
地域資源の活用による産業振興	149名
企業誘致	69名
創業支援	20名
中小企業・小規模事業者への支援	68名
その他	31名
無回答	53名



⑥力を入れるべき島での産業 (N=482)

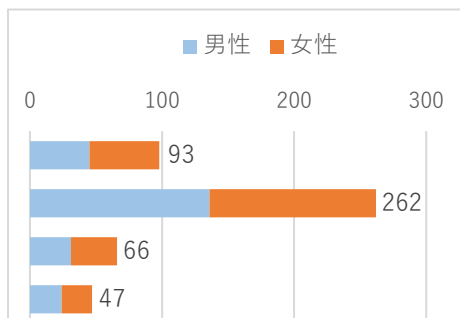
人材確保や育成に向けた体制づくり	136名
生業として魅力ある農業の振興	68名
漁獲量拡大のための支援	10名
海洋深層水を活用した多面的な展開	77名
商業エリア活性化・地産地消の仕組	56名
島の資源を活かした観光振興	66名
久米島紬等ものづくり分野への支援	17名
その他	12名
無回答	40名



4.島での「子育て」について

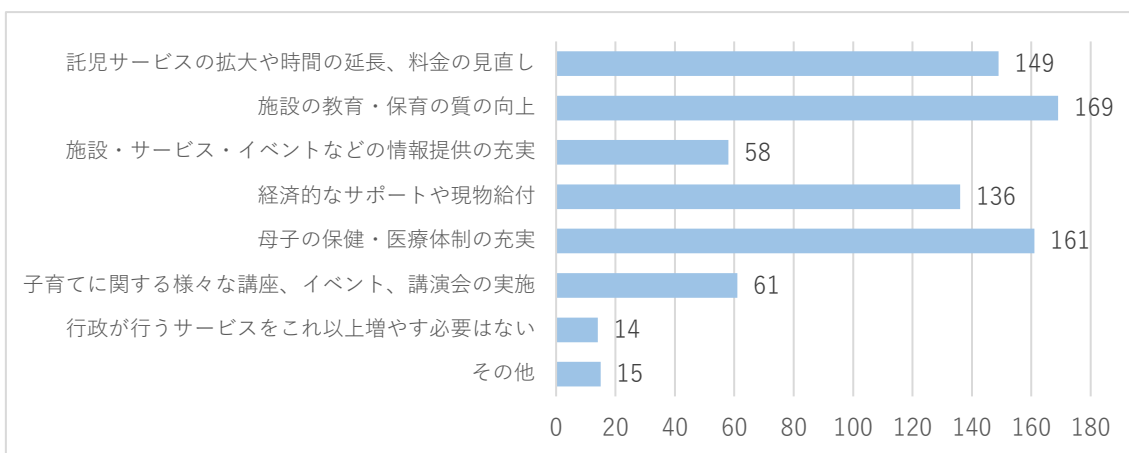
①男女別にみる子育てのしやすさ

	男性 (N=236)	女性 (N=237)
そう思う	45名	53名
どちらかと言えばそう思う	136名	126名
思わない	31名	35名
無回答	24名	23名



②島での子育てに必要なこと（複数回答 n=964）

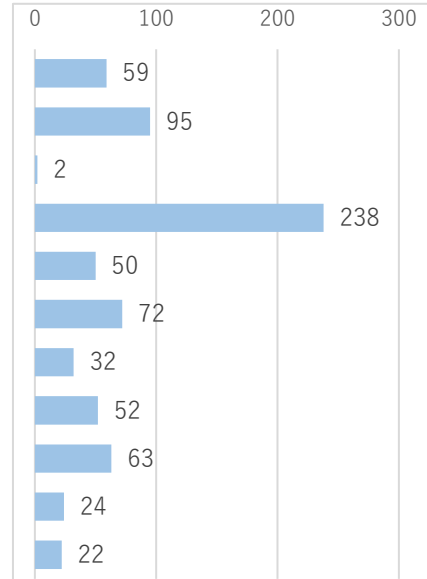
託児サービスの拡大や時間の延長、料金の見直し	149名
施設の教育・保育の質の向上	169名
施設・サービス・イベントなどの情報提供の充実	58名
経済的なサポートや現物給付	136名
母子の保健・医療体制の充実	161名
子育てに関する様々な講座、イベント、講演会の実施	61名
行政が行うサービスをこれ以上増やす必要はない	14名
その他	15名



5.島での「暮らしの拠点」について

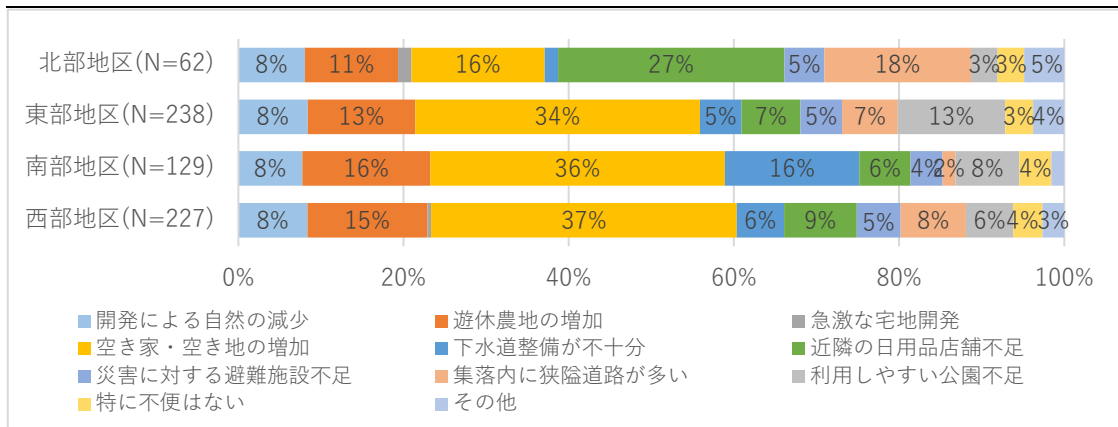
①島の土地利用についての問題点(複数回答 n=964)

開発による自然の減少	59名
遊休農地の増加	95名
急激な宅地開発	2名
空き家・空き地の増加	238名
下水道整備が不十分	50名
近隣の日用品店舗不足	72名
災害に対する避難施設不足	32名
集落内に狭隘道路が多い	52名
利用しやすい公園不足	63名
特に不便はない	24名
その他	22名



②地区別の土地利用の問題点 (複数選択)

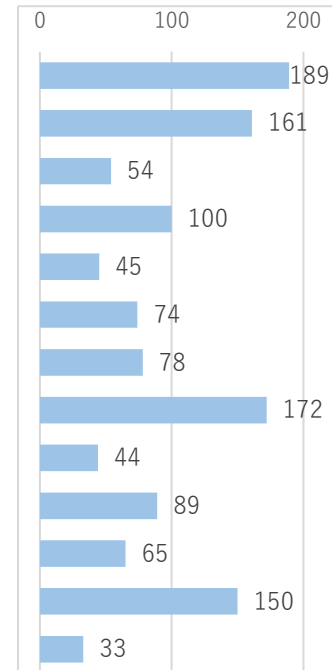
	北部地区 (n=62)	東部地区 (n=238)	南部地区 (n=129)	西部地区 (n=227)
開発による自然の減少	5名	20名	10名	19名
遊休農地の増加	7名	31名	20名	33名
急激な宅地開発	1名	0名	0名	1名
空き家・空き地の増加	10名	82名	46名	84名
下水道整備が不十分	1名	12名	21名	13名
近隣の日用品店舗不足	17名	17名	8名	20名
災害に対する避難施設不足	3名	12名	5名	12名
集落内に狭隘道路が多い	11名	16名	2名	18名
利用しやすい公園不足	2名	31名	10名	13名
特に不便はない	2名	8名	5名	8名
その他	3名	9名	2名	6名



6. これからの久米島町について

①人口減少への取組み（複数回答 n=1446）

島の資源や特色を活かした新たな仕事づくり	189名
労働環境や給与などの待遇改善	161名
観光資源の保全・競争力強化	54名
久米島ならではの教育魅力化の拡充	100名
結婚を希望する人々への支援	45名
子育てへの地域サポート体制の強化	74名
女性が働きたい、住みたいと思える環境づくり	78名
通院など、医療保険体制の充実	172名
障がいがある人も安心して暮らせる環境整備	44名
長期滞在や移住希望者の受け入れ体制の整備	89名
公営住宅の整備などの住宅供給	65名
島外への移動における交通費負担軽減	150名
その他	33名



7. 島づくりの目標に対する自由記述での主な内容

① 「生まれる」世代のために

産前産後における課題として、産婦人科がないことへの不満が多く、出産が出来ないだけでなく、不妊治療が行えないことに困っているようである。また、島外での出産を行う上で、渡航するための経済的・精神的不安、第2子以降の場合に子どもを残して島外へ出なければならない事への不安も課題となっている。さらに、職場における産休制度の確立や困った時に相談できる場所が必要である。

主な意見

- ・産婦人科や乳児の病院が無く、島内でお産や不妊治療ができない。
- ・出産のために島外へ出なければならないため、金銭面・精神面での不安。
- ・緊急時や何かあった場合の通院やどこに相談すれば良いのか、対応に不安がある。
- ・出産休暇がとれず、仕事をやめなければならない。
- ・島でのお産が出来ないため、2人目以降の出産時が心配。



②「育つ」世代のために

自然がたくさんあり、子育て環境として良いとする意見が多くみられた一方、島における公園の配置や年齢に合わせた使いやすい遊具、雨の日に利用できる屋根のある空間への要望も多く見られた。

また、近年、図書館や学童施設など子育て施設が増えてきており、子育て環境の充実に対する期待の声も上がっている。

主な意見

- ・自然がたくさんあり、子育て環境としてよい。
- ・安全に遊べる遊具や、雨の日等に遊べる屋内施設等がほしい。
- ・各校区など、子ども自身でいく事ができるように公園を分散して配置してほしい。
- ・障がいのある子ども達も一緒に活動できるよう、特別支援教育を進めてほしい。
- ・図書館「ほんのもり」に学童「風の森」、児童デイ「スター」さらに、近々こども園もでき、島での子育てが充実してきている。

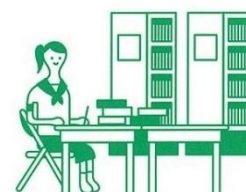


③「学ぶ」世代のために

学ぶ環境として、生徒の数が少ないために切磋琢磨できる環境ではないと心配する声が多く上がっており、子ども達がより刺激を受けて、将来への選択肢を広げながら成長できる教育のプログラムが求められている。また、高校魅力化プロジェクト等、教育に関する様々な取組みがあり評価されている一方で、知らない住民が多く、周知に力を入れる必要がある。

主な意見

- ・人数もすくないため、子ども同士が切磋琢磨する環境ではない。
- ・教育に関する様々な取組みがあるが、知らない島民が多い。
- ・塾などがなく、学ぶための選択肢があまりない。
- ・島に誇りを持てるような教育を行ってほしい。
- ・離島留学など高校魅力化プロジェクトの活動はよいと思う。



④「働く」世代のために

職種が多くなく、島の物価に対して賃金も少ないため、条件にあう仕事を見つけにくいという意見が多く見られた。また、せっかく島外で学び資格を取得しても島内で活かすことができないという意見もみられ、IターンやUターンを増やしていくためにも、企業誘致やテレワークできるシステムの導入を行い、スキルを活かした仕事に就けるような環境づくりが必要である。

主な意見

- ・ 選択肢が限られており、給与や労働時間、勤務内容など条件にあう仕事を見つけにくい。
- ・ 島の物価に比べて賃金が低い。
- ・ 専門の資格や大学卒業のスキルを活かせていない。
- ・ IターンやUターンを増やすためにも、企業誘致やテレワーク環境を作してほしい。



⑤「暮らす」世代のために

防災に対する町の考えが周知できておらず、避難や備蓄に対し、不安を感じている意見が多く、さらに、台風などの高潮時に流通が止まってしまう困っているという意見が多くみられた。治安に関しては、外灯が少なく夜が暗いという意見もみられるものの、比較的多くの人が治安はよいと感じている。

医療については、歯科や眼科、皮膚科など施設が少ないため、予約が取れず困っているという意見がとて多く、対応が必要である。

主な意見

- ・ 飲酒運転や無免許運転、車検切れをよく見かけるため交通に関して不安がある。
- ・ 事件事故の話あまり聞かないため、治安はよく安心して暮らせると思う。
- ・ 大津波が発生した場合の避難場所や備蓄に不安があり、台風などの悪天候時の流通に困っている。
- ・ 医療機関が少ないため、受診のために島外へ行かなければならない。



⑥「老いる」世代のために

介護施設及び、そこで働く職員の数が不足している現状に対する不安や、病気になった際の島での医療体制、また免許返納後の移手段など、この島で住み続けていくためのこれらを心配する声が多くみられた。

これらの不安への対策と、不安を感じた場合に相談できる窓口が求められている。

主な意見

- ・介護施設、また担い手も不足しているため最後まで島で暮らせるかが不安。
- ・車の免許を返納したら移動が難しくなる。
- ・病気になった際の通院や手術など、島の医療体制と経済的にも不安がある。
- ・高齢で一人になり困った場合の相談窓口を知りたい。



⑦「次世代」のために

次世代に繋いでいくために、自らがチャレンジできる環境や可能性があると感じている人々もみられ、新たなビジネスの創出に前向きな意見がみられた。

しかし、島の大切な資源である自然に関しては、ポイ捨てが多く守られていないとの意見が多く、対策が求められている。

主な意見

- ・いろいろな可能性や資源があり、事業展開を考えるのが楽しい。
- ・海洋深層水関連事業や農業や漁業で新たな仕事が生み出せたらよいと思う。
- ・島の人がつくっている物を島で消費できるような、持続可能な島になってほしい。
- ・自然は多いが、ゴミのポイ捨てが多く自然が守られていない。
- ・役場に行っても職員に話しかけづらいので、挨拶などの声掛けがほしい。さらに、デジタル化を進めてほしい。



⑧島を訪れる、島に帰る人たちへ

移住や島を出た人々が戻れる環境を作るために、提供できる住居を増やす事や、移住や雇用に関する情報を入手しやすい提供方法の検討が求められている。

また、観光地として質を高めるために、久米島高校で観光業に従事する人材の育成の提案などもあった。主な意見

- ・住める家が少なく、選択肢があまりない。
- ・人々は親切で住みやすいが、自分からコミュニティに入れず馴染めない人もいる。
- ・久米島高校に観光に特化した課をつくって卒業後に働ける環境を作ってはどうか。
- ・町のホームページから情報が得づらい。知り合いがいないと聞くことも難しい。



8.

5年後…久米島はこうあってほしい！

※自由記述（原文のまま）を以下のとおり分類し、整理しました。
一部、個人が特定されるような表現などを省略しています。

①人口……………17	⑥産業・経済……………25
②子ども……………19	⑦高齢者……………26
③働く環境……………22	⑧計画策定にむけて……27
④自然……………23	⑨医療体制……………27
⑤観光……………24	⑩その他……………28



①人口

- ・今、東京を中心として会社組織、地域コミュニティの人々の幸福度を向上させていく取り組みが積極的に行われています。幸福度調査なるものが、学術的研究によって開発されており、人々や組織の幸福レベルを数値化することが出来ます。(慶応大学の前野教授が日本の第一人者です。)そして幸福度レベルの高い組織は人の採用に優位、地域コミュニティは関係人口の増加を実現しています。このような学術的な視点から、「久米島は日本で最も幸福度の高い地域」「久米島に住むと幸福度が上がる。(幸せになれる)」という状態を作ることが、目指すことが出来るかも知れません。5年後そのような島になったら最高だと思います。※私は、会社組織の幸福度向上に携わっているので、久米島にも何か役に立てる事もあるかもしれません。
- ・1ターナーが増え、人口増加！農業を発展させ、自給自足！
- ・これから、久米島も高齢者が増え、人口減少が加速するので将来が不安です。
- ・5年後、10年後、これ以上人口が減少しないよう官民ともにもっと攻めの姿勢でそれぞれの施策の戦略を！！ネット、SNSを利用し、企業誘致や産業の振興に力を入れるべき。若い人たち(20代、30代)の活躍を応援していく支援策を。特に島に移住して、起業している優秀な人たちの意見をもっと聴き、島の人たちも概成概念にとらわれず柔軟な対応をとるべきです。
- ・家賃が高いと思います。島の建設業の方々ももっと安価でできる住宅を提案して、若い人たちが家を持てる環境を作って欲しい。また、高齢者宅のリフォームや庭の木の伐採など、小さな仕事をどんどん請け負って欲しい。「なんだかんだ言ってもやっぱり島が一番よね」って言う久米島であって欲しい。その為に私も頑張る！
- ・人口は増えていなくても、活気があり、全都道府県の自治体からも注目される島でいて欲しい。
- ・今暮らしている人は基本的にある程度今の生活に満足しているように思う。20代までの若者が一度島外に出ていくのは自然なことなので止めては行けない。緩やかな人口増加のために、島のもつ魅力を失わず、移住者が住みたく魅力的な場所にしていく努力を続けていくことが大切だと思う。
- ・新しい産業が増え人口減にストップがかかり始めたらいと思う
- ・まず、住居を増やし、大規模な企業誘致をするなどで、人口を増やしてください。内地や島外から様々な文化や考え方が入り混じれば、改善すべき古い慣習や固執した島の流れも大きく変わるのではないのでしょうか。新しい考えが入らないと、この島も変わらないと思います。(変えたいのであれば、の話ですが)
- ・人口減少は随分前からの課題となっていますが、あまり効果的な対策が行われていないように感じます。動きが遅い。行っているのであれば、効果がないのでは？見直すべきです。
- ・5年後では特に変わらないでしょう。人口減による高齢化がどのくらいのペースになるのか。
- ・現状の自然環境保護と将来の全国的人口減少社会へのモデル(規範)となるコミュニティの形成
- ・人口が集まる所に人は寄って来る行政はじめ識者などの意見を聞いて最、最活力のある久米島になることを望む。
- ・独身男性が多く、ますます高齢化が進むのでは？(早世が多い)職員の採用の仕方も多角的に見て、優秀な人材を採用した方が良い。行政力が低下すれば、島の活性化も低下し、人口が減少していく。島外の優秀な人材も活用しながら魅力ある島づくりをしなければ久米島の未来は暗い。今後の自分のことを考えると不安がいっぱいで。一番不安なのが、医療体制への不安。本島への受診となると、経済的負担が増える。医療費より交通費や

- 滞在費が多額になる。出産の為の支援はあるが、その他の支援はない。基金で久米島民が利用できる宿泊所などあれば助かるかな。
- ・ 島根県海士町のように人口が増えて、活気が今以上にあるといいな。私は学校に勤めていますが、いつでも地域の人々が訪問できるような学校だと思いいなと思います。コミュニティ・スクールとか地域とともにある学校……。教職員は地元の方が少なく3年～5年ではいなくなってしまう人が多い。ぜひ「おらが学校」自分たちの学校である！わたしの、わたしたち地域の学校であるという気持ちで学校と接点を持っていただければと思います。普通にふらっと立ち寄って子供たちの勉強している姿を見るとか……。学校も閉ざされた空間ではなく、開かれた空間であって欲しい。そして子供たちも地域の方も共に成長していく場にしていきたい。
 - ・ 人口減少が止まるか、止められるか！規制が多いと暮らしにくい。このアンケートが何かの役に立つことを望む。
 - ・ 自然は今のまま残して欲しい。仲里側だけでなく、新興通り近辺も活気を取り戻して欲しい。島内の生活水準が底上げされていけば良いと思う。理想ではなく現実的に考えると、島外への人口流出は加速しているような気がする。
 - ・ 今、住んでいる人、これからも住み続けたいと思っている人が幸せと感じられる島。離島として動けるマンパワーは限りがあるので、全部を緩くやるのではなく、島民の生活や福祉に力を入れて欲しい。生産人口が増えて欲しい。(減らないで欲しい)島民の意見を行政にとり入れて欲しい。
 - ・ ワークーションが拡がり、移住者増による人口減少に歯止めがかかっている。
 - ・ 自分の住んでいるまわりは85歳以上の老人が多く、5年後には人口の急減が気になる。高校卒業後、県内県外で研修後、久米島で就職できる会社。公務員、議員の数を減らすこと。
 - ・ コロナがなくなって、安心して過ごせることが出来、観光客でにぎわって欲しい。子どもに対する支援が増えることと、不妊への治療やサポートが充実し、子どもの人口も増えていて欲しい。久米島産の食べ物をより全国へ周知してもらえようネット販売の拡大。
 - ・ 久米島そばを八重山そば、宮古そばのようにもってアピールし、久米島半日ツアー的な企画で安く久米島旅行ができ、その旅行で久米島が好きになった人が移住し、人口が増える。人口が増え、島が盛り上がる、など。
 - ・ 想像したことがない。5年後よりも今、介護と大学受験を控えている子の事で日々の生活だけで24時間があつという間に過ぎている感じです。5年後？多分私は、久米島に住んでいると思う。一つだけ考えるのは少子化と高齢化。どうなるのかなあーと思う。人口減少は空き家が増えたことで実感している。
 - ・ 医療体制が整ったら長期滞在の老人ホームというか施設を作って内地から定年後にのんびり生活を送ってもらい、人口や観光客が増え、お金が島に落ち、皆の生活が潤うことを望みます。元気でないといけないのでやはり、医療が一番大切ですね。子どもを産みやすい島に。健康でいれる島に。(医療です。)
 - ・ 転勤している。人口は少し減少していると思う。
 - ・ まず、人口増を目標にするような時代錯誤から脱却して欲しい。
 - ・ 人口が増加するような島であって欲しい。観光客が沖縄で一番来る島であって欲しい。
 - ・ 今とそれほど変わらない生活をしていけば、それが幸せだと思います。そのためには、人口が減っていたならダメです。人口が500人減ったら多分、スーパーもドラッグストアも病院もなくなるから。年100人増やす努力をしないと。それは多分夢。
 - ・ ネット環境の充実。不法投棄のないきれいな島。

環境に配慮された畑周りの整備。移住した起業家や移住者への、サポート（島コンは窓口であって、それだけでなんとかなるわけでない。本当に移住してほしい、人口を増やしたいと思うならサポートの充実が町の課題解決が先）

- ・近頃は人口増加ばかりを気にしているのか、役場職員は移住者に振り回されているような気がします。外の若者を移住させてあれこれ補助金をつけても、けっきょくは数年で見かけなくなります。それよりも、島で生まれ育った子供たちが戻ってこられるようなことに補助金を使ってほしい。移住者目線で島を変えていろいろ作っても、けっきょくは時期がきたら地元に戻ってしまうわけで、最後に残るのは先祖代々仏壇や墓がある島人なのです。まずは元々の島の人たちが暮らしやすい島を目指してほしいと考えます。
- ・生産人口の確保
- ・不満ばかりになってしまうとは思いますが、すみません。自分が生まれ育った島で、好きだから帰ってきました。でも、子どもだから見えていなかった部分があるのは当然ですが。あまりにも自分の記憶の中のイメージの島とはかけ離れています。人口減少の問題など深刻になっているのは実感していますが…人それぞれ環境はちがいますが、地域などでも家族一緒にコミュニケーションのとれる行事イベントがあって、親、兄弟との思い出もよくありました。今は何も無い日が少なく、島を盛り上げるためと駆り出され、主催した側は中心の人やゲストや招待の方では『成功だ！』と盛り上がっていますが現場（末端）のボランティアなどはそれどころではないと思います。配偶者、

子どもがいようが、明らかに迷惑していようがお構いなしでお酒の場やイベントへ連れ出され、権力と言って良いのかわかりませんが、何かしらの役員や職についている人に対してだったり、島ならではのと思います。知り合いだから、よく知っていて仲が良いから悪いことしている、言っていると知っていても誰も何もいわない。噂ではなく、実際にそう感じていて、自分でも言えることから勇気を出して言っていこうと思っています。他人任せ、町まかせでなく、自分でも小さいことから変えて行けるよう地道に行動していきたいと思いますが。盛り上げたい、人を集めたいだけの島になっていくのであれば大切な故郷でも将来的に離れたいと思っています。今回、色々と意見を書くスペースがありますが。以前のドリ一部でしたか、まつりのような発表会も繋がりがあんならですが…マイナス意見は受け付けません！と言っていたのが強く印象に残っていますが、それもどうかと思いました。進行の妨げになるなら、その場では発言は控えてくださいならまだしもです。島全体がそうかもしれませんが、思っている事を言いにくい環境だと思います。人が言わない意見を言う時はなおさらです。誹謗中傷は気を付けるべきですが、もっと意見の言いやすい方法も考えていきたいです。

- ・教育の充実、福祉の拡充、雇用の拡大この三つの事が小さな島での生活に多くかかわって来る。自然を更に豊かにして人々の和む島を久米島でしか感じられないような環境創りをゆっくりでもいいから創り進むことが必要に思う。そうすれば人々が増え、豊かな島生活が出来ると考える。

②子ども

- ・子どもの手本になる言葉使いをする大人が当たり前の久米島になるべき。（お前、〇〇だろ。〇〇やれ。どけ。といった下品な言葉で子どもに話す親が多すぎる。子ども達はそれを通常の言葉と見て会話をしていて、親も違和感を、感じていない。島外の人からすれば聞いているだけで恥ずかしいレベル。）
- ・小学生のうちから子どもたちが島に誇りを持つ

て生活してほしい

- ・小学校を統合せずに、地域の学校を残してほしい。少人数、複式になると、メリットデメリットはあるが、学校がなくなるとその地域の子どもたちが減っていくと思う。
- ・子どもは将来の納税者。幼児教育に予算をかけるべきだと思います。
- ・いつか、陸上競技場ができれば、島外から選手を招いたスポーツイベントをたくさん開催してほしいです。(大会や合宿受け入れなど) そうすることで、憧れの選手を近くで見て、それをきっかけに島の子供達が夢を見つけ、夢を実現したいという意志を強く持たせることができるのかなと思います。
- ・小さな子供を育てる行政の仕事、無償化など、数年前にくらべると本当に整備され、びっくりするぐらいです。この後必要なのは育てている親に、前向きに子育てする力(方法)のアドバイスです。行政の方でも施設などの整備も大切なことですが、今の島の子供の実態をさぐり、その子の親の様子なども情報として持って欲しいなと思います。
- ・公園は子供にとっては大切な遊び場です。だるま山公園や、その他公民館などにある遊具を直したり、新しくしてほしいです。(子供が遊びたくなる公園づくり)
- ・大学、専門学校あと1高校があれば島から出て行かない。出て行った子供達も帰って来る人が増えます。
- ・今のままでは子供産みたくても自分の食いぶちだけで精いっぱい諦める人も多いのが現実です
- ・子供に優しい町。
- ・島で育った子供達が久米島出身なら旅費を安くし、仕事があればリターンしたい子もいます。子育ても良い島なのに住宅供給し、給与なども子供の数などで考えて、島に子供達の明るい声が欲しい

いです。やる気を引き出す応援。

- ・子供たちはスポーツに学力に向上が見られ、島の自然、文化、伝統行事に誇りを持ち参加し、担い手になって欲しい。
- ・島外から来た私は、品物の種類のなさにすごく不便を感じた。運搬料もかかるので品物代も高いのはわかるが、食料品はくされかけだし…。そういう所の改善がされればなぁと思う。出生率が全国2位と言うわりには子供用品は全然ない。産科の先生も常駐していないし、妊婦さんはすごく不安である。出産1ヶ月前には島を出なくては行けないが、家庭内の事情もある中で、大変。キレイな海など大自然の中でのんびりとした生活は、それはそれですごくいいと思う。都会では味わえない事だと思う。物が無い事で余計な物は買わないし、お金を貯めるにはいい。ゴルフ場を作り、観光客を呼ぶといいのではと思う。5年後大きい変化はないと思うが、少しでも今、思っている事が改善されていけばなぁと思う。通勤族なので久米島にいる間は島で充分楽しみたいと思う。
- ・私は今、不妊治療をうけています。久米島に帰って来て子作りを頑張ろうと思い、婦人科を受診したら、すぐに本島の病院に通院する様に言われました。今でも月に2~3回本島に出向き、治療をしています。治療費、渡航費、金銭的な問題に加え精神的にも辛いものがあります。それでも久米島で子育てをしたい。子供の為には久米島の環境で周りの方との交流を深めながら、子供と一緒に成長したい。と思い今日まで頑張っています。5年後、私に子供がいるのか分かりませんが、子供を欲しい。と思う夫婦がもっと負担なく治療が出来る環境が築ける島であって欲しい。そう思います。
- ・この結果をもとに、ただ会議をしたという事実だけで、満足するのではなく、実現へ向けて動いて欲しい。風森の一連の事業を学童と切り離して欲しい。学童は皆が待っていたものだが、子供が自分で歩いていけない所にあるのは不便。学童を支

援するのは賛成だが、他の宿泊やカフェにふるさと納税や他の税金を使われたくない。宿泊する所がない小さな離島が、税金でやるならまだしも、他にたくさんあるのに疑問しかない。また、バーデハウスのようなのでしょうか。島民は学童のみを待ちわびていたのですよ。

- ・グラウンドを作って島を盛り上げる！走ることは、靴があれば気軽に始められるスポーツ。一人でもできる。歩く事は基本なので雨でも対応できるグラウンドを作る。子ども達も安心して走れる。最近の小、中、高生の活躍は陸上が多いと思う。全国一位になったのも陸上のやり投げだと聞いている。伊江島もグラウンドを作って陸上が盛んになり、いろいろなスポーツの合宿が多いと言っていた。島の人たちの健康、子供達の可能性や自信にもつながるスポーツへの取り組みにもつながる。グラウンドがあれば、マラソン、駅伝の合宿も多くなり、それに対応できる合宿所も作れば中、高の合宿も可能だと思う。離島なので他のスポーツを見る機会が少ないので、呼べるようにするためにもキャンプや合宿をできる場所があればいろいろなスポーツをする人達が集まって来ると思う。人が集まればもっといろいろな可能性も生まれてよくなると思う。
- ・障害者も皆一緒に活動し、どこからでも子供達の笑い声が聞こえ、笑顔がいっぱいの島になっているといいなと思います。
- ・11月に公立図書館「ほんのもり」が開館します。町民待望の文化的施設に期待します。また、R2年度より、学童「風の森」、児童デイ「スター」も開所して、子育てが充実すると思います。(近々こども園もできますね) これらを島内外にアピールすることで、「子育ては久米島」が広がるのでは？しかし、小学校が、6校中3校複式学級があることが不安材料です。ぜひ、統合を進めて欲しいです。(できれば図書館近くに1校新しくつくる) 適正規模の学校を・・・。

・これからを担う子育て世代やばりばり働く世代への支援がもう少し増えてほしい

・不妊治療助成も考えてほしい

・子育てが楽しくなるような島

・若い世代は将来結婚し、島で子育てをしたいと思っ
てはいる。

・子育てしやすい島

・のびのびと子育てをする為には行事などを減らして時間に余裕。心に余裕を持ちたい。久米島だから出来ないではなく、久米島だから出来る！と前向きに検討し楽しんだ島ライフが出来るといいなあ。と思います。

・島で経済的にも心にも余裕を持って子育てを楽しみたい。

・不妊治療のため、島外へ何度も足を運ばなくては
いけないので、治療に通う為の助成がもっとあ
ると助かります。体外受精となると、月に何度か
通わないといけず、連日10日ほど通わなくては
いけない事もありました。そのための宿泊費も、
交通費もかかってきます。今ある助成金もすごく
助かっていますが、交通費だけでももう少しある
と大変助かります。

・発達障がい児に対する特別支援教育が進み、個人
個人に対応することがきめ細やかに行き届いて
いたらいいなと思います。また、乳幼児の体育の
質の向上が少しでも上がっていることを望みます。
このことは、将来の久米島を担う人材育成の
原点でもあるので、実現して欲しいです。

・5年後と言わず生涯、久米島で、生まれて育っ
て良かった、と思えるようにしてほしい。将来的
には久米島病院で出産ができ、育てる環境が整っ
て、子供、孫、にも、久米島はとてもよい島、と島外
の人に自慢できる島作りを若人、と共に頑張っ
て行きたい

・高校がある島はあまり多くないので、高校の存続

・本島で行われる大会、コンクール等に参加する場
合(学校代表とかでなく個人的な参加でも)旅費

の支援があった方がいい。そうすれば、スポーツや芸術面でももっと積極的に取り組む子が増えると思う。

- ・島に住んでいると、本島に住んでいる子より、いろいろな面で不利という感覚が強い。
- ・若人へ条件付きで貸与（就学前の6年等）
- ・教育は校外の人材や教育素材をもっと活用して欲しい。
- ・高校の入学者が半分以上島外生となっている。
- ・最近での研究では幼児教育に投資する事の利点がよく発表されています。計画的な 予算の使い方、計画的な幼児教育の施設の運営のあり方、リ

ーダーシップや責任感をしっかりもって税金を使って欲しいと思います。

- ・久米島高校に観光科をもうけ、卒業したら、自信をもって、島内のホテルに働けるようなシステムがあってほしい。海洋学科など、島の良さを生かした教育学科があってほしい？園芸に興味をもっている高校生がどれだけいるのか疑問？魅力ある高校にしてほしい。
- ・両中学校を統合し、教育内容を充実して欲しい。（その教科の免許を持った教師が指導できるようになる。）

③働く環境

- ・若い人達がどんどん島外へ出て行くのを食い止めるには島は魅力ある場所であって欲しい。農業でも働きがいのある仕事で、給料でも少なくない納得いくだけの金額があれば違ってくると思う。
- ・久米島に魅力ある、仕事がほしい。給料をもらって生活できる保障がある仕事がないため、島を出た子どもたちは、誰も帰ってこない。
- ・税制の優遇による。テレワークなどを行う企業の誘致。飛行機などの交通費などの補助、直行便の増便。オンラインで完結する仕事が多くなっているからこそ。そこの誘致に力を入れてほしい。人が増えないと島が終わる。税制の優遇。企業の優遇。もちろん地元産業は大事にしたうえで。
- ・1人1人がもっとのびのびと仕事、生活にある程度満足出来るような町づくり、地域行事を増やす)、回線環境の改善、給与の見直し
- ・今よりもっと高齢化社会になると思います。高齢になっても仕事をする機会があることは、いいことだと思います。働きたい方への仕事の紹介などがスムーズに行われたらいいなと思います。
- ・みんなが自分や家族、仕事を誇りに思って、笑顔で暮らせればいいと思う。所得の水準は底上げしたい。日々の暮らしに追われるのではなくて、ゆ

っくりこれからのことを考える時間がみんなにあれば、もっと良い島になるとおもう。

- ・通信環境がさらに整備され、都市部にいるのと同じようにオンラインでの仕事や学習がスムーズにできる環境であってほしいです。停電に強い久米島を！
- ・仕事がないから若い方は、外へ出ていくと思う。ただ仕事をする為には島外へ出て生活することも必要だと感じます。島で暮らした事のある方が、島外で得た経験を活かせる町になって欲しいと思います。私自身島の事はわからないが、何の縁もゆかりもない久米島で、久米島の方にいろいろお世話になり、それなりに幸せに生活できています。久米島に来て良かった。
- ・島外から移住、定住が増えて、若い人達の仕事があり、小、中学生が増えて活気がある町になって欲しい。
- ・「島には仕事がない」ではなく各業種がある。
- ・若人の生活の不安はなくなり、島でやりたい仕事ができる又は、起業したいと思う。そして島で暮らした若人が今後の島のあり方について具体的に案を出し活動してもらおう。
- ・今のままでは、一部の人達は満たされ、一部の人

は欠けると思います。いつまでも今と同じ状況が続くとは限らないと今から将来に備えて、一人一人が努力をし、人を支援し、思いやりをもって、自分の仕事に責任を持って全うする。上の立場の人は、平等な評価をして欲しいと思う。他人を陥れる人がいない正しい事は、伝えられる世の中、社会が良いと私は思います。今後とも宜しくお願い致します。

- ・島にずっと縛られるのではなく、せっかく那覇から飛行機で 30 分程の距離を活かして、本島と離島の両方の生活も出来るような体制や、もしくは島から出なくても仕事ができる IT 体制を構築してほしい。
- ・やりたいことを仕事にして毎日幸せに生きている。
- ・将来的には、久米島に老若男女が住んでほしいと

思います。自然と美しさが維持されることを願っています。空き家が少なくなることを願っています。改善とさらなる発展があることを願っています。もっと会社とか仕事があるといいですね。もっと多くの人が久米島に来てほしいです。

- ・若者が島内にとどまり、島外から定住して多くの雇用場所や施設が増えて欲しいです。
- ・賃金UP！
- ・働く場がないと地元の生徒も戻ってこれられないので、企業誘致も一案かと思えます。
- ・所得水準が上がってゆとりある暮らしであって欲しい。
- ・新たな仕事（業種）が増え、進学や就職で島を離れた子供達が帰ってこられる環境が、今よりも良くなっていること。

④自然

- ・久米島で幸せに暮らしていきたい。このかけがえない綺麗な久米島の海が、昔のように又、今よりも綺麗な海に戻って欲しい。ビーチの前にも熱帯魚が戻り、昔のようにすぐそこに珊瑚礁が戻ってきて欲しいです。大好きな久米島の繁栄と大切な自然動植物の保護願います。
- ・自然の豊かさ、地域の伝統など、守るべきものはしっかりと守って！！その上での町の活性化を。島に入れるべきもの、そうでないもの見極めをしていかななくてはいけないと感じます。
- ・豊かな自然を守りつつ、地元主体の産業の発展により、活気ある島をつくりあげ、笑顔溢れる島を願います
- ・美しい自然が守られ、誰もが気軽に來ることのできる久米島であって欲しい。
- ・自然が溢れている、住みやすい町である事を願っています。
- ・自然や文化が大切にされ、明るく豊かに生活しているような島になって欲しい。
- ・自然が多く残り、人生に生きがいや、やりがいを持って生きている子供や大人もいる久米島であってほしい。
- ・豊かな自然と文化と便利さの共存。島の自然と文化は大切に受け継ぎながら、本島との行き来が便利になることで、全世代の人々が安心して充実した暮らしが出来る久米島であって欲しいです。
- ・久米島町内の人々が、久米島の自然、文化、伝統のすばらしさを理解し、自信を持ってこの久米島を誇り、生活できるよりよい久米島であって欲しい。
- ・自然豊かな環境を残してほしい。
- ・自然と調和した人間らしい暮らしが息づく町であり続けて欲しい！
- ・久米島の自然文化を大事にし、思いやりの心を忘れずに平和でいつまでも過ごせる島になって欲しい。
- ・大雨になると赤土汚染が気になります。海を大切にしなければ観光客は減ると思います。汚染を防ぐために、山に木を植えることや、住民に理解を

求めることが必要かと思えます。

⑤観光

- ・観光地は、うんと観光地として特化、発展して古民家や美しい自然はクリーンに保たれて欲しい
- ・観光資源を活用した多くの人に来島して欲しいと願っている。
- ・米国ハワイのような観光立島になって自然環境の中、老若男女の集えるサークル活動をしている。
- ・ウェルネス観光産業で島が活性化しているといいなと思えます。
- ・自然を破壊することなく、共存する形で観光に力を入れて良いのでは？（久米島高校に観光科、レジャー産業科を設定。卒業後→島内で働けるシステム作り）
- ・色んな福祉対策、教育、生活面などは5年前と比べると向上している感はあり、今後も期待できるかな？と思っていますが、何一つ変わらないのが…1周線、町道、汚すぎる！飛行機から降りて?? 帰り道の光景はいつまで経っても同じ！「観光地」久米島！一島民として恥ずかしく思う！よって5年後…イメージがわからない！
- ・TPPが各国との間で、締結されてくると現在の島の砂糖キビ畑は半分以下になるだろう（消費者価格は日本の砂糖が世界一高い為、キビ畑は観光客のお土産用の黒糖を作る材料以外は必要なくなる。）従って久米島の農業は亜熱帯の気候と冬の暖かさを利用した野菜を国内の消費地のみならず、香港、シンガポールを中心に外国のマーケットへの輸出を目指して、航空便での輸送を活発化して運賃の低減化をはかりたい。観光客を積極的に誘致し、観光資源を環境整備し、情報提供するサービスを行う。漁業は自然の資源を収穫するだけでなく、車エビの養殖を始め栽培漁業に海洋深層水を利用している。海洋深層水の利用の新しい産業の育成。
- ・観光客が再び訪れたいような島であってほしい。（場所ではないです。誰と会うかどんな人と会うかです。観光業の人・町民が無愛想では観光客は再び来たいとは思いません。）
- ・コロナが落ち着き、観光客で溢れる島であって欲しい。
- ・若い世代が増えて、島の産業が活性化していれば良いと思います。観光業ももっと活発になって欲しいですが、島民が不便、不利益になるような形にはなって欲しくないと思います。今のようによったりとした時が続けば良いなと思えます。
- ・私は以前から考えていることですが、久米島ほど地理的に優位な島は無い。沖縄本島から25分で来られるし（フェリーで3時間）、空気が美味しい見渡す限り緑、四方海に囲まれるのかな島です。どうして観光で伸び悩んでいるのか？沖縄本島在住の人の意見は航空運賃が高いといつも文句言っています。久米島出身者だけでも離島割引カードを発行することはできないか。
- ・観光業の拡大（石垣、宮古に負けない。）
- ・観光に来られた方々に久米島の良い所を話してあげられる。笑顔で迎えられる島であって欲しいです。
- ・観光客で賑わっている。
- ・バーデハウスの活用をはかる。観光と繋げて目玉の一つにしたい。町内老化ホテルを新築してPR（島のよさを満喫できる企画の設置）
- ・航空運賃の軽減が島出身の人や観光客まで及び、沖縄本島に住む子や孫たちがもっと気軽に来島出来るようになって欲しい。

⑥産業・経済

- ・島の自然や文化を大切にしつつも、もっとおしゃれな島になって移住者や観光も栄えていたら良いな。島にいる人達もお酒飲むだけが楽しみじゃなくて、もっと楽しめる事増えていたらいいな。おじいも、おばあも、仕事していない人ももっと自立出来たらいいな。
- ・島内で、電気・水道・野菜などの食料の自給自足が島内でできて、持続可能な楽園モデル島として、世界各国から、意識の高い人たちが、島の暮らしと自然を楽しみにと、長期滞在&視察しに訪れる。久米島全体がバリ島のダライのような高級リゾートとなり、島外の人、島内の住民も「島の暮らし」をまるごと楽しめるような自然体の島になること。
- ・異業種の交流、他のコミュニティとの語らいを通じて、知恵を向上させる社会。沖縄県食糧自給率全国最低なので、自然が残っている島は将来有望（特に水は）。
- ・農業が人の受け入れをできると考えるので、農業が盛り上がったら楽しいと思う。食を作るのは農業、漁業だから
- ・子どもが進学後、島に戻りたいと言っています。農業、漁業、産業等さらに発展していることを期待します。
- ・日本や世界から学びにいきたい！と引っ張りダコの久米島。あるがままの姿（自然も人も）を大切に、今ある島の恵みをみんなで分け合って生きていく。土づくりにこだわった農業を大切にするからこそ、川や海が美しさを維持し、栄養豊富な野菜や米、果物が育ち、人々の、子供達の健康や生きる活力へいい影響を与えている。生き生きと、のびのびと自由に楽しみながら過ごす中で幸せを感じる人々の愛で溢れた久米島。シンプルに。島全体が豊かさを象徴するロールモデルへ
- ・各家庭が畑を一つ以上所有する（義務、地代はかからない）農作物を一人一つ以上は育てる。自給自足でもいいし、物々交換でもいいし、自由に販売してもいいし、野菜や果物をこういう形で地産地消できれば面白いと思う。
- ・従来の島民も特別なことは必要なくて、米や野菜を作って、ありのままのその豊かな昔からの島暮らしを島外から来た人たちとシェアして、世界中のファンから外貨をたくさんいただく。
- ・安全な島野菜が食べられる島
- ・島内野菜の地産地消の取り組み強化！
- ・5年後、久米島で自分野菜を育てて収穫しているといいな～！農協で野菜の育て方など教えていただいたり、畑を耕す機械をレンタルできたりすると良いな～！お花もたくさん植えたいな～！釣りも出来たら良いな～！お米作りも良いな～！自給自足に憧れて、土と自然のパワーで。自分が作った野菜の食生活で体調も万全！！自然の实りを畑からキッチンへ。畑作業も素敵なファッショで。私を支えてサポートしてくれるパートナーもできると素敵。素敵な5年後、ゴミのない綺麗な浜辺になっていると願っています。バーデハウスも又、復活できると良いな～！星野リゾートが参入して下さると良いな～！町の風景、居住している家がカビや塗装がされていない家がすごく多く、町がキレイに家が塗装されていたら素敵な風景になると願っています。個性豊かなステキな島になるといい（久米島の未来に）
- ・空き家、空地进行をきれいにして町を美しい、誇れるように出来ないものか、海洋深層水を活用して野菜などは島で取れるようにして欲しい。島の者としては、島外に誇れる豊かな心で楽しく住みたいです。美しく豊かな安心の島をぜひ。
- ・観光、教育、医療、産業がコロナでリセットされ、地域分散型の独自の、地域の人々にあった環境が作られている
- ・若い人達の島へのUターンが増え、産業が増え活気ある久米島になっていますように。
- ・久米島には産業の種がいっぱいある。石垣や宮古なんかよりずっと。島と人を大事にしながら、生

- き生きとした産業ができていたらいいな。
- ・久米島で生活出来て幸せだと感じられる（島や人間の魅力向上）こと。住んでいる人に優しい島（分かりやすい情報提供、リアルタイムでの情報入手など）。島内で完結できる産業をつくること（観光だと安定しないことが新型コロナで分かった為）。
- ・県内の他の地域とは違う、久米島の特有の良い部分や人の考えかた、生活のペースがあるように思われる。その特長を生かした経済振興がなされると良いのではないかと。
- ・もっと経済がまわっている。
- ・経済的に活気がある島になってほしい。
- ・今後生活が苦しくなるでしょう。借金大国の日本の今後がこわい。日本の経済も悪くなるような気がする。
- ・環境省が進める地域循環共生圏の考え方（ローカルSDGs。市民協働により、地域の中で経済が健全に回り、環境が守られている地域）が浸透している久米島。島内だけでなく、様々な他の地域や海外と連携した動きが取れている久米島。移住者と従来の島民が分断せず、お互いの長所を活かして共存している久米島。他地域の真似ではなく、地域資源を活かした地に足の着いた教育先進地としての久米島。コロナに限らず、様々な脅威（経済・文化的侵略）に耐えられる、ささやかだがしなやかな久米島。ひとりひとりが自立分散し、それぞれが自給自足の技術を持っているために、食べるのに困らない、本当の豊かさを持ち、他の地域の模範となるような久米島。
- ・海洋深層水関係の事業拡大に最力を入れて久米島を活気づけて欲しい。せっかく立派な施設ができたのに十分に宣伝し、有効活用したら久米島は元気が出ると思う。
- ・海洋深層水施設の拡張は実現していて欲しい。
- ・深層水の10万トン計画が実行されていることを望みます。
- ・魅力的な職種があり、給料も良く、若者が働きたいと思える島
- ・もう少しまともなサトウキビを作る！
- ・色々な企業を誘致して久米島を宣伝、活動の場所として使ってもらいましょう！既存のやり方や固定概念を捨て新しい形を久米島から作り上げてほしいです！
- ・農薬をできるだけ使わない島（農道を歩くとキツイです。）
- ・7700名の方が島で作っている物（みそ、酒、塩）を消費すれば、会社の人が増える。地産地消ではなく、地消地産にすべきである。
- ・久米島の特産物をもっとアピールして欲しい。（久米島そばや、紅イモも島に来てわかった）
- ・地産地消が実現していれば島に住んでいても少額のお金で安心して暮らせるかも。年寄りが多い島なので、年金だけでも生活できる島になっていればと思う。又、どこでも乗り降りできる小型バスのような乗り物があれば（できたら一時間おきくらいの間隔で）。
- ・自給自足で食べ物が豊富にある暮らし。
- ・エネルギー自給率の向上、食料地産地消は、町役場が指標を公表して定期的に発表していて欲しい。
- ・地産地消が増えている

⑦高齢者-

- ・高齢者の困りごと（木の剪定、台風後の片付け等）を解決できるようなサービスができるといい。
- ・高齢者の方々はシルバー人材センターに登録し、自分の得意とする技術を発揮し、毎日が充実して
- いる。また、各字のサロンも内容が充実し、（予算面も）和気あいあいと笑顔あふれていることが一番の望みです。
- ・高齢者が最後まで島で暮らせるようになって欲

しい。

- ・これからも若い人達や、高齢者が助け合い住みやすい島であって欲しいです。
- ・高齢者が毎日生きがいを持って、生活出来る島。障害を持っていても仕事をし、健常者と変わらない生活が出来る島。若者が元気で、伝統文化を大事にして守っている島。最期まで自分らしく生きられる島。
- ・年をとっても安心できる島（移動手段、独居）
- ・Dr コトーではないが、ある程度の処置が出来るお医者さんが来てくれる。公民館をもっと充実し、元気なお年寄りが近くで楽しく暮らせるようにして欲しい（得に独居老人）。若者との交流も同時

に島外から来た人が気楽に寄れる公民館であって欲しい。ラジオ体操をやって欲しい。元気なお年寄りが病気にならないように工夫して欲しい。例えば毎週何かのお教室を開くとか、前向きに元気で楽しく暮らせるような会合が必要だと思います。

- ・自給自足。私は年齢が 80 歳近く、病気もあり、動くのに苦労している。
- ・老人ホームとかシェアハウスとか増えて欲しい。一人暮らしになった時にとっても不安に思う。私自身の身内が一人も久米島にいないので、子ども達、孫たち、兄妹も皆、都会に住んでいる。

－⑧計画策定にむけて－

- ・私達は意見を言う事しかできませんが、こうして住民を巻き込むのはとてもいいことだと思います。自分たちの街のことですので、地域住民も行政任せではなくもっと声を上げ、一丸となって真剣に考えるべきです。
- ・今後もこういう機会は作ってください。
- ・素人レベルでもわかる問題は山積しています。なるべく早く解決されることを期待しますが、この街がどのように良くなっていくかを見届けたいので、必ず経過の報告もお願いします。
- ・島民のために毎日一生懸命お仕事をしている町役場の皆様本当にお疲れ様です。これからも宜しくお願いします。
- ・アンケートにて満足、不満等をしっかり住民に知らせ、共有し大きな島改革をしてほしいと思う。まとめた、アンケートの住民報告楽しみにしています。
- ・自分が誰かから大切にされてはじめて自分も誰かを大切にできる。一町民として、大切にしてくれる行政マンが一人でもいれば、町のために力を発揮できる町民が増えるのではないかと。そういう町に 1 人 1 人に優しい町になって欲しい。
- ・行政側に未来をイメージして動く人員がいないように感じる。
- ・久米島の未来のためまずは役場職員が同じ目標を持ち、固定概念を打破して、町民を引っ張ってくれる存在になって頂けたら、すごく変わって魅力ある島に、町になるのではないかと思います。
- ・基本計画前期の取り組みの中で、どのような成果が出ているのか、行政としての評価、住民の立場で評価など、双方の共有ができるといいと思う。
- ・行政が、どの方向へ向かっているのかわからない？

－⑨医療体制－

- ・医療介護施設が増えている。医療従事者も増えている。
- ・医療体制の充実
- ・1 番の心配は大きい病院がない事。
- ・住民健診について、今年はコロナの影響で那覇医師会が実施できないとのことで公立久米島

病院が対応することになった。今後もこのような事態が起り得ることなので、公立病院の施

設整備、拡充、体制の強化が望まれる。

⑩その他

- ・この島に来て、1年半ですが、正直なところ、この先住み続ける気にはなれません。不便が多く活気や刺激もない。石垣や宮古はあんなに発展したの？久米島も同じようには行きませんが（同じようになって欲しいわけではない）もう少し不自由なく文化的な生活がしたい、胸を張って大好きな島だと言えるようになりたいです。
- ・島民平均年齢の若返り
- ・島外にいる久米島出身者が久米島に戻ってきたと思えるような政策をもっと行ってほしい
- ・離島の中でもズバ抜けたネームブランドの確立
- ・再生可能エネルギーなどいろいろな分野で、島の自立を目指して、前列のないことにも取り組む島であってほしいです。
- ・久米島で、笑顔で家族団欒、友達も一緒にご飯を食べている！
- ・久米島はお年寄りを思いやり、大切に作る大人や子どもの島。
- ・タバコのポイ捨て、立ちションベンをしない公共マナーの知識がある大人多い久米島。
- ・島の外に出なくても、何不自由なく暮らせるようになって欲しい。
- ・わたしは実業団で陸上競技の現役選手をやらせてもらっていますが、いろんな実業団チームや大学などから、久米島で合宿することはできないか？と聞かれることが多いです。ですが、その度に、陸上競技場が無いので本格的な練習場所を確保するのは難しいと思いますと、しぶしぶお返事しています。いつか、私自身もそうですが、島で合宿ができる日が来るといいなと願っています。
- ・2世帯、3世帯家族が増えていること。
- ・安心して住んでいる地域で暮らしていくためには、字を中心とした活動がとても大切だと思います。小さな字もたくさんあると思います。字同士の統合を町として進め、活動しやすい公民館活動を考えていけたらいいなと思います。（行きたくなる公民館）
- ・久米島の人には車を頼って歩こうとしない。自分自身の為に歩く機会増やしましょう。スマップあるサークルで卓球やっています。時間午後2～5時、月曜日と火曜日、金曜日やっています。
- ・愛の溢れる島
- ・5年後の私はどうなっているでしょうね。一人暮らしをしている者にとっては毎日が心配ですね。
- ・「普通」に「平和」な暮らしが理想。
- ・一周道路沿いに花木（久米の桜、さがり花等）を植え、満開に咲き誇る花を見たい。
- ・変な第三セクターとか補助金目当ての事業とかを始める事無く、そのままいて欲しい
- ・健康的で文化的な公園のような町
- ・住んでも、旅行に来ても魅力的な島であってほしい
- ・知名度UPして宮古、石垣に負けないくらいの活気あふれる島、海洋深層水だけに頼らず、もう少し商業施設があるといいかも。島に癒やされに来る人を増やす。
- ・周りの目を気にする事なく、自分がやりたい事を楽しめる人が増えてほしい
- ・将来を良くするためにも、これから人生を生きていく人たちにも目を向けてあげてください
- ・個人がそれぞれの思惑やたくらみをもって、自分の心地よいコミュニティをつくりながら、コミュニティ間で相互に人の行き来があるような島だといいなあと。また生活を久米島のみで完結させるのではなく、人生のフェーズに合わせて最適な場所に移り住んでいくような回遊モデルを構築

できればいいなと思っています

- ・経済的負担感のない渡航費により人の往来が活発になり、特に久米島出身者が気楽に帰省でき、暮らしやすく、沖縄の他の地域より行き来しやすい環境が造成されている状況
- ・持続可能な暮らし。お金がそんなになくても幸せ。ペットボトルジュースや添加物たっぷりのお菓子、ゲーム課金など無駄なお金の使い方をせず、昔ながらのお菓子や果物を食べ、ゆんたくして楽しんでいる。
- ・スローライフ
- ・若い人のUターンが増え活気ある、久米島になっているように。
- ・楽しく隣同士のコミュニケーションを大事にする久米島町であってほしい
- ・新たな投資はやめて、あるものを見直し活用して、島を出て行った若い世代は、経験を積んで戻って来て、活躍できる場所(多様な職業)、環境(給料や処遇面)も充実し、島に住んでいる人が満足することで、自ずと移住する人も増え、夢つむぐ島へ発展している島であってほしいです。
- ・久米島は自分らしく暮らせる島。5年後も変わらず今のままで充分。みんなも変わらず自分らしく、楽しく暮らしていれば充分。
- ・都会に近づく
- ・バーデ開く。今月に、オープンレスト、喫茶(障害者も働けるように)(ボランティアも募集)
- ・合同葬祭場(永代供養)が出来ていて、料金が安く、生活負担が少なく、墓終いできたら良い。(これからは、墓の管理をする方が少なくなるので困る方が多くなる。)
- ・誰もが遊びに来やすい料金で、宿泊先も泊まりやすい所が増えたら良い。
- ・地域が活性化してにぎやかな街になって欲しい。
- ・誰でも幸せであると感じられる島であって欲しい。一度訪れたら又、来たいと思えるような島。人情豊かな思いやりのある島。県道等に里親制度を作り花いっぱい運動の推進をする。
- ・各地域にある公共施設(公民館等)がうまく利用して集う場所になるような工夫をもっと検討して、活用させていけたら独居者の生きがいづくりとなり、地域活性化につながると思う。
- ・24H営業の店舗が1つでも営業している。
- ・花いっぱいの島。安心して過ごせる島。
- ・安全、安心な食べ物を取り、美味しい空気と水で命を大切にしていければと思うし、人との暖かい交流を持続したい。
- ・男社会(おじさん社会)撤廃!多様性が認められて自由で開かれた社会に
- ・生まれてから死ぬまで安心して生きられる社会。
- ・再生エネルギー100%の島!脱カーボン!
- ・自転車用の専用一周レーンとかできると安心して自転車を利用できる。
- ・今のままで変わりなく生活できたら幸い。
- ・島の事を理解した島出身の子たちが安心して住める久米島であって欲しい。都会の論理で島を汚してほしくない。
- ・毎年100名減少で交付金が三千万円減少して行くそのままでいいのか町が考えて欲しいです。住民登録していない人が各部落にいるとのことです。1名30万円町はほしくないですか?
- ・旅費を安くして欲しい。
- ・島民割引を多くし、移住するメリットを増やして欲しい。(すでにあるのなら教えて欲しい。)
- ・今と同じ。
- ・昔の文化、地球の人を大事にする気持ちをもって欲しい。
- ・本土のみなさんは、自分中心で他人のことは考えないから、地域住民の考える事を理解して欲しい。
- ・島を出た若者は島に誇りを持ち活躍し、島の大人は外で活躍する若者を誇りに思い、元気をもらい、頑張っている島社会になりたい。
- ・大人が酒の量を減らし、健康的生活をきづき、スポーツ、PG等を楽しめる島社会になって欲しい。

- ・ゆいまーる社会を再建し、老若男女楽しく語りあえる挨拶出来る笑顔あふれる島になって欲しい。
- ・生き方（在り方）を学べるイヤシロチ 2025 年
- ・個人が大切にされる島であって欲しい。
- ・昔のようなサンゴがいっぱいの綺麗な海になっていて欲しい。
- ・父が亡くなって父の畑だと思った場所が他人名義のもので「返して貰う」言われてしまった。明確にして欲しい。借地？賃地？誰の物を誰が借りたか？貸したか？よく分からない場合がある。場所と面積も。
- ・島に住んでいても、本島と変わらない人だと思えるようになりたい。
- ・町長をはじめ町民のため、模範となる自覚がなさすぎる職員が多い。議員も同じである。
- ・ひきこもりニートの防止
- ・スマホに喰われている大人、子供の防止
- ・とても素敵な島で大好きです。
- ・若い夫婦が多くなって欲しい。
- ・バスが30分おきに来て欲しい。9時⇔9時30分、10時⇔10時30分、11時⇔11時30分
- ・いろいろな意味で美しい豊かな島であって欲しい。
- ・町営住宅を増やして欲しい。
- ・現在使っている離島カードが島外どこでも使用できることを希望します。沖縄本島にかかる橋があって欲しい。フェリーが島（久米島）を一周するサービスがあって欲しい
- ・もっと久米島が好き、知りたい、の学習施設があって欲しい。
- ・若い世代が暮らしやすい島になるべき。
- ・教育費の全額又は、半額免除（保育園～高校）
財源は住民税の加率、又は拠出金の創設、ふるさと納税の活用
- ・公営住宅の整備、供給
- ・マリンスポーツが盛んに行われている。
- ・宮崎駿氏の作品がたくさんある。
- ・5年後、久米島は皆が仲良く生活できるようにして欲しい。
- ・インターネットや通販等で、生活に必要な物を購入しているので、今の所不便なのはないが、これから老いをむかえ、近くにお店がないので、買物をするのが不自由になりそう。島の文化、自然、景観等、素晴らしい宝がいっぱいあります。子や孫達に島の良さを伝えたい。
- ・自由に好きな事を出来るような、偏見なく自由に自分でいられる、そんな島になれるように何かしていきたいです。
- ・一人暮らしが多くなっているのでは？
- ・赤土問題は改善して欲しい。
- ・イベントが少なくなり、8月の久米島まつりに期待するものです。（大物シンガーによるコンサート、エイサー）（島の有名人の紹介場、島のよさアピールの場）
- ・さくらまつりがなくなったことに落胆している。（すばらしい企画だったと思うが？商工会、青年部がやりたくない…？っとの話が聞こえてきましたが、定着をはかり県の三大桜まつりとなることを期待していたのに残念！）
- ・久米島に住めて良かったと思えるプロジェクト作りをお願いします。
- ・知り合い、同級生達がいるから、皆さんでカバーして豊かに暮らしかるから大丈夫だと思います。皆、仲良く仕事したり、話したり、困った時助け合ったりしたら久米島の暖かな人達の島づくりをしたいなあと思いました。
- ・5年後までには、ネコシェルターができて欲しい。猫たちが幸せに、人に可愛がられて住める家が欲しい。「猫の餌代は猫が稼ぐ」をモットーに税金を使わない方法で。避妊手術後の猫は公報で紹介し、里親を募集する。里親が手術代を支払う。安心して島外へ行けるようにする。
- ・久米島が久米島らしく、いつまでも温かく笑顔あふれる島であってほしい。

- ・若者が多く、イベントも盛り上がって自慢できる島！
- ・本当に必要なものを大切に残せる町！
- ・もっと希望が持てる島であってほしい
- ・「ないちゃー」という言葉が存在しない島であって欲しい。
- ・発展しすぎず、久米島ながらのゆったりとした雰囲気が残った、温かい島
- ・行ってみたい、住んでみたいが1つでも多い魅力的な久米島
- ・チャレンジできる島、失敗しても再チャレンジできる島
- ・5年後、私は高齢になり、島に若い人が増えていれば多くを自分でやることはないと思うので、若い人が活躍している島であって欲しい。
- ・役場庁舎を1ヶ所にまとめて建築して欲しい。
- ・5年後、私は今よりもっと幸せに暮らしています。多くを求めず健康に気を付け、日々の生活があるがまま受け入れて、「ナンクルナイサー」と「ヌチドゥタカラ」を大切に暮らします。(今はまだ悩みが多い…)
- ・豊かで活気のある島で他県からも羨む島になって欲しい。
- ・今と同じ暮らしかな？
- ・若い人が働ける場所が出来ているといいですね。
- ・いまのままがよい
- ・医療、教育、福祉サービスなどを拡充し、皆が安心して笑顔で過ごせる島に！
- ・第三の離島でありながら格差がありすぎ、那覇から気軽に来てどこの離島にも負けないリゾートそして平和にゆっくりした時間を楽しみながら年を重ねたい。今しか出来ない事、やりたい事を出来る幸せ。
- ・何も変えきれない、逃げ腰の久米島
- ・5年後、どうこう言う前に、今すぐ何すべきか。それを個々人で分かって行動しているのであれば、何も危惧する必要ナシです。少なくとも自分は、未来のために、いつもやることは明確なので。
- ・5年後、60歳になります。生きていますでしょうか？人はいつどうなるか分かりません。子は37歳、35歳、孫は10歳、7歳、5歳になります。第一「ケンコウ」が一番です。医療体制の充実、シルバーセンター、子供の自由に遊べる環境、障害者への暮らしを充実して欲しい。ユイマール精神でありたい。久米島の皆様が元気であればそれで「良い」
- ・アパート代が高い。施設（住む）家を作って下さい。
- ・おそらく現在とあまり変わらないで暮らしていると思う。が出来れば自由自在に子供達の所へ行き来出来るといいです。
- ・島は島で5年後も変化ないと思うが、子供や孫達がいつでも家族を連れて里帰りできる、あるいは会社の人達、友達などで島に観光に来られる、キャンプ出来る。そうなるとうちでも金銭面になる。島出身の方がいつでも行き来できる状態をつくって欲しい。移住々々と先に口に出るのは移住ですが、島の出身者をどうしたら、島に振り返ってくれるかを考えた方がよい。
- ・5年後の成人する子供達が安心して就職できる島になって欲しい。この島が好きなので、好きな人達と永らく暮らしていけるよう、自分のことは自分で考え、地域で困っている人がいればまず、地域で助け合うことができればいいと思います